

平成25年度第4回沖縄県がん診療連携協議会・緩和ケア部会議事要旨

[日時]平成26年1月21日（火） 19:15～21:50

[場所] 琉球大学医学部附属病院 がんセンター

[参加者]14名：足立源樹（那覇市立病院）、垣花真紀子（沖縄県立宮古病院）、笹良剛史（南部病院）、伊藤昌徳（ハートライフ病院）、増田昌人（琉大病院）、上田真（沖縄県立中部病院）、島袋恭子（那覇市立病院）、大湾勤子（国立病院機構沖縄病院）、尾崎信弘（沖縄県立八重山病院）、親泊美香（ちばなクリニック）、福地 泉（アドベンチストメディカルセンター）、笠原大吾（福寿薬局）、友利健彦（北部地区医師会病院）、橋爪佳代（ハートライフ病院）

[欠席者]3名：栗山登至（琉大病院）、喜納美津男（きなクリニック）、棚原陽子（琉大病院）

[陪席者]1名：安里千恵美（琉大病院）

<報告事項>

今回もSkypを使用して会議を行った。

1. 平成25年度第3回緩和ケア部会議事要旨

伊藤副部長より、資料1に基づき、「平成25年度第3回沖縄県がん診療連携協議会・緩和ケア部会」の議事要旨が報告された。

2. 部会員の新規加入について

伊藤副部長より、資料2に基づき、新たに橋爪佳代氏（ハートライフ病院・理学療法士）が部会員となる事が報告された。

3. 緩和ケアフォローアップ研修会について

笹良部長より、資料3に基づき、今年度も緩和ケアフォローアップ研修会を開催する事が報告された。事務局より、2月上旬に各施設へ研修会の案内文を発送する予定である。

4. 緩和ケア研修会実施について（県立中部病院）

伊藤副部長より、資料4の受講者からの改善要望の中に「離島から参加するので連日開催にしてほしい」という点について、次年度の検討課題とする事が提案された。今年度は、2月9日（日）・16日（日）に豊見城中央病院主催の研修会が最後となる。

5. 除痛率調査進捗状況

笹良部長より、現在、豊見城中央病院でSPARCS方式を導入し試験的に運用を行っている事が報告された。これまでの紙ベースをなくし、電子カルテのシステムを利用し集計まで行えるよう進めている所である。補足として、増田委員より2月中に国がんからの場先生が沖縄の除痛率調査を行う病院を訪問に来る予定であることが報告された。

6. 拠点病院における新指針について

増田委員より、別紙資料に基づき、1月10日付けで厚生労働省より拠点病院に対する新指針の通達があったことが報告された。新制度として、新たに拠点病院が4つに分類され「地域がん診療病院」と「特定領域がん診療連携拠点病院」が新設される事、緩和ケアに関しては、緩和ケアセンター設置、院内の緩和ケアマニュアル作成、外来及び入院患者へのスクリーニング等の要件が増えたことが説明された。

<協議事項>

1. 平成25年度事業評価について

資料5に基づき、下記の通り評価を行った。

① 年3回以上、緩和ケア研修会企画、実施の調整をする

実績：拠点病院3施設とハートライフ病院で開催済み。2月中に豊見城中央病院で今年度最後の研修会開催予定。⇒評価：10点（仮）

② 緩和ケアフォローアップ及び在宅緩和ケア研修会を開催する

実績：3月19日（日）に沖縄県医師会館で開催予定⇒評価10点（仮）

③ 在宅緩和ケア地域連携事業

ア) 二次医療県内の在宅療養支援診療所等のリスト及び在宅緩和ケア連携を患者家族に示せるマップの作成

実績：メンテナンス中⇒評価5点

イ) 症状緩和を目的とした緩和ケア関連の地域連携クリティカルパスの作成と運用

実績：クリティカルパスは作成済み。運用は症例待ちの状況である。⇒評価7点

④ 除痛率調査

実績：昨年6月に研修会実施済み。調査の導入については、現在進行中。

評価⇒7点

⑤ 看取りを施設で行うための勉強会の実施

実績：施設での勉強会実施済み

⇒評価10点

⑥ 緩和ケアの現状調査を行い、ホスピス病棟を持つ病院・在宅医療との連携を強化する

実績：ホスピス病棟や在宅医療者との交流会実施済み。⇒評価8点

⑦ チーム医療体制の強化をする為の基礎データ収集について

実績：がんリハ理学療法士、緩和薬物療法薬剤師の人数把握済み。⇒評価8点

⑧ 緩和ケア認識の普及として県内で講演会等を行う。

実績：医師会での講演会へ支援を行った。評価10点

⑨ 患者会への協力

石垣と宮古で患者会を後援する、又は講演会の開催

実績：患者会へ協力を行った。⇒評価 10 点

⑩ 行政セミナー実施

県職員や関連担当者に対する緩和ケアの現状を伝える為の県職員向けセミナーを行う。

実績：次年度に向けて協議を行った。⇒評価 3 点

2. 平成26年度事業計画（案）と予算（案）

資料5に基づき、次年度の事業計画（案）と予算（案）を継続していく事で協議され、それぞれの計画の概要については見直しを行った。増田委員より、ロジックモデルの見直しについて提案があり協議を行った。結果10個の施策はそのままで、期日が設定されている施策については次回の部会で見直す事となった。